

平成27年度

1 組織

園長	伊藤喜昌
教頭	長谷川真由美
教諭	廣内厚士
非常勤講師	橋本由美
養護教諭	加納ゆき（上賀茂小学校兼務）
保健職員	辻本 恵
嘱託管理用務員	北村 舞
臨時事務員	西村洋江

2 園児数

ゆり組（年長）	28名（男子13名，女子15名）
ばら組（年少）	28名（男子 9名，女子19名）

3 主な行事

4 / 8	着任式 始業式
4 / 9	入園式
4 / 21	新入園児歓迎会 創立記念日
4 / 24	保育参観・P総会
5 / 1	子どもの日の集い
5 / 7	親子ふれあいの集い
5 / 8	いけばな体験
5 / 15	葵祭見学（年長）やすらい祭見学（年少）
5 / 30	休日参観（1日代休）
6 / 2	お茶会
6 / 8	陶芸教室
6 / 11	人形劇鑑賞会
6 / 16	カレーパーティ
6 / 18	プール開始
7 / 1～2	七夕親子製作
7 / 7	七夕の集い
7 / 9～10	プール参観（年長・年少）
7 / 15	祇園祭見学（年長）

- 7 / 1 7 1 学期終業式
- 7 / 2 1 ~ 2 2 園内宿泊保育
- 7 / 2 6 夏祭り
- 8 / 2 7 ・ 2 8 夏プール
- 9 / 1 2 学期始業式
- 9 / 7 科学センター (年長)
- 9 / 9 烏相撲見学 (年長)
- 9 / 1 6 祖父母参観
- 9 / 2 9 園外保育 (動物園)
- 1 0 / 1 7 運動会 (1 9 日代休)
- 1 0 / 2 9 園外保育 (植物園)
- 1 0 / 3 1 バザー
- 1 1 / 1 入園受付開始
- 1 1 / 1 1 幼稚園大会
- 1 1 / 1 2 園外保育 (大文字山)
- 1 1 / 1 7 ポップコーンパーティー
- 1 1 / 1 9 おいもパーティー
- 1 1 / 2 4 1 日動物園
- 1 1 / 2 6 焼きいも大会
- 1 2 / 1 新入園児健康診断
- 1 2 / 4 大根抜き
- 1 2 / 1 1 楽しい集い
- 1 2 / 1 7 ~ 1 8 園内展
- 1 2 / 2 2 2 学期終業式
- 1 / 7 3 学期始業式
- 1 / 8 もちつき大会
- 1 / 1 4 マラソン練習開始
- 1 / 1 5 伝統芸能鑑賞・どんど正月
- 1 / 2 6 入園説明会
- 1 / 2 8 マラソン大会
- 2 / 3 節分
- 2 / 2 4 生活発表会
- 2 / 2 9 親子交通安全教室 (年長)
- 3 / 1 親子お茶会
- 3 / 2 ひなまつりの集い
- 3 / 4 半日入園

- 3 / 1 1 親子お別れ会
- 3 / 1 1 P総会
- 3 / 1 8 終了式（卒園式）
- 3 / 2 4 終業式
- 3 / 2 9 初出校
- 3 / 3 0 離任式（長谷川真由美教頭：乾隆幼稚園教頭へ）

4 本園の教育について

(1) 教育目標

いきいきと 心豊かな たくましい子ども

(2) めざす幼稚園像

- ・楽しくて、安心して活動できる幼稚園
- ・美しく清掃され、保育環境が整えられた幼稚園
- ・子どもを真ん中にして保護者とともに子育てを進める幼稚園
- ・地域と結ばれ、信頼される幼稚園

(3) めざす子ども像

- ・夢中になって、とことんやろうとする子ども
- ・感動したり、共感したりする子ども
- ・自分の思いを言葉や体を使って表現しようとする子ども
- ・思いやりの気持ちをもち、命を大切にしようとする子ども
- ・葛藤を繰り返しながら、やり抜く子ども

(4) めざす教職員像 「教職員及びそれらを支える教職員」

- ・「子どものために」を信条に、熱い思いをもち、初心を忘れず意欲的に教育活動を進める教職員
- ・「こだわりのある保育」を信条に、教材研究し、保育のあり方を研究し、進んで公開保育をしたり保育参観をしたりする教職員
- ・「自らが高まることは、子どもが高まること」を信条に、あらゆる機会をとらえて自己研鑽し、その成果を教育活動に生かそうとする教職員
- ・「いつも子どもの（が）そばにいる」を信条に、子どもとの出会いを喜び、保護者、地域と共に教育活動を進めようとする教職員
- ・「環境整備は教育の出発点」を信条に、美しい場づくりや保育環境づくりに努める教職員
- ・「教職員は子どものモデルである」を信条に、服装、態度、言葉使い等に気を配り、けじめをもって活動し、社会人として、公務員として、自覚をもって生活する教職員
- ・「時を活かし、場を美しく、襟を正す」そして「笑顔」を忘れない教職

員

(5) めざす園長像

- ・保育についての専門性を高める。
- ・園児や教職員とともに活動する。
- ・PTAや地域の方々との連絡を密にする。
- ・保護者の子育てに対する相談に寄り添い、共に考える。
- ・教職員の健康と安全に気を配る。

(6) 経営方針

- ・地域の文化遺産や自然など地域の特性を生かした教育を進める。
- ・めざす教職員像を追求しながら、教職員の和によって、めざす学校像・めざす子ども像にせまる
- ・子どもに「後伸びする力をつけるための遊び」について研修を進める。
- ・見逃さない、許さない人権意識の高揚のための人権研修を行う。
- ・発達や学びの連続性を踏まえた幼保小の交流を進める。
- ・子育て支援の充実を図り、園と家庭との連携を深め、家庭の教育力を高める。
- ・地域の人材を活用する取組を進める。

(7) 実践活動

- ①保育の充実
- ② ゆとりのある行事
- ③ 未就園児の子育て支援推進事業（教育相談事業）
- ④ 家庭との連携
- ⑤ 幼・保・小・中・大連携
- ⑥ 地域との連携
- ⑦ 学校評議員から学校運営協議会へ

5 園内研修

(1) 研究主題

地域子どもたちを共に育むための よりよい保幼小連携を探る
～互いに学び合い育ち合う保育者と教師を目指して～

(2) 研究の方向

- ① よりよい交流を目指し、交流活動計画や内容を見直す。
 - ・保育者・教師だけの連携ではなく、組織間の連携としてのチームづくりをする。
 - ・保幼小の交流の事前・事後の話し合いの場を設定する。
- ② 子どもの姿を通して互いの教育観を共有し、共に育ち合う関係性

を目指す。

- ・公開保育を行い，小学校や近隣の保育園にも参加を呼び掛け，事後の協議の場をもつ。
- ・小学校の授業や保育園の保育の参観をする。
- ・公開保育を兼ねた研究報告会をする。

6 環境整備

- 竹馬置き場の設置
- すのこのコーティング
- 新しいブランコの設置
- 教室壁面及び職員室横外側通路の掲示板の設置改修
- 教室の電圧の改良
- ファックスの交換
- 職員室横金網ドア設置
- 預かり保育担当者の机の新調
- 玄関のスロープ化
- 教室の電気の交換